

裏面白紙

内閣閣甲第一號囑

昭和十九年一月四日

内閣書記官長

書記官長

書記官

各省長官
 密計院
 行政院
 貴族院
 法務院
 賞勳局
 技術局
 中央官廳
 高等官
 横須賀
 佐世保

各省長官
 密計院
 行政院
 貴族院
 法務院
 賞勳局
 技術局
 中央官廳
 高等官
 横須賀
 佐世保

各省長官
 密計院
 行政院
 貴族院
 法務院
 賞勳局
 技術局
 中央官廳
 高等官
 横須賀
 佐世保

(各通)

本日内閣總理大臣ヨリ中央官廳勅任官以上等ニ爲サレタル官紀ニ關スル
 訓示別紙送付ニ及ビ候

百十二

主事

會計課
 庶務課

久保

戰時官吏服務令ノ制定公布ニ當リ東條内閣總理大臣訓示

昭和十九年一月四日
於 内 閣

大東亞戰爭第三年ノ政始ノ日ニ當リマシテ、戰時官吏服務令ガ御制定、公布セラレタノデアリマス。茲ニ、中央官廳ニ於ケル樞要ノ地位ニ居ラルル諸君ト共ニ、之ガ實踐ニ關シ、決意ヲ披瀝スル機會ヲ得マシタルコトハ、洵ニ感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。

今ヤ皇國ハ國家ノ隆替、東亞ノ興廢ヲ決スベキ重大時局ニ直面致シテ居ルノデアリマス。我々ハ、御稜威ノ下、舉國一致、飽ク迄モ不屈不撓、此ノ難局ヲ突破シテ、大東亞戰爭第三年ヲ、是非共、必勝ノ基礎確立ノ年トセネバナライノデアリマス。

此ノ秋ニ方リ、我々官吏ノ責務ハ、愈々重大デアリマス。今ヤ官吏ノ職責遂行ノ如何ハ、直ニ、國民ノ士氣ニ反映シ、國民ノ活動ヲ左右シ、戰爭遂行ニ、多大ノ影響ヲ及ボスノデアリマス。御承知ノ如ク、官吏ノ服務ニ關シマシテハ、夙ニ、其ノ重要性ニ願ミ、明治二十年官吏服務紀律制定セラレ、爾來、我我官吏ハ、只管之方違奉ニ努メ來ツタノデアリマス。歴代ノ政府ガ、官吏ノ服務ニ關シ、屢々訓示ヲ行

ツテ参リマシタノモ、相率イテ之ヲ遵守セントスル努力ニ外ナラナカッタノデアリマス。而シテ、今日
官吏ノ責務ノ益々重大ヲ加フルノ秋、戦時下官吏ノ服務ニ關シ、更ニ、特ニ重點ヲ置クベキ事項ニ付、
明示セル勅令ノ御制定ヲ見マシタルコトハ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ所デアリマス。此ノ際、我々官吏
ハ愈々内ニ省ミ、切磋琢磨、本勅令ニ示サレタル所ヲ拳々服膺シ、以テ戦時下ノ御奉公ニ、些ノ遺憾ナ
カラシメコトヲ、固ク期スル次第デアリマス。

戦時官吏服務令ニハ、先ツ

「凡ソ官吏ハ國體ノ本義ニ徹シ至誠一貫諧和一致匪躬ノ節ヲ致シ其ノ職務ヲ奉行スルヲ以テ本分トス今
ヤ戦局熾烈ニシテ官吏ノ職責愈重キヲ加フ宜シク官吏服務紀律ヲ嚴守スルト共ニ特ニ左ノ各項ノ實踐躬
行ニ力メ征戦ノ完遂ニ些ノ遺算ナカラシメ期スベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、全官吏ガ、崇高ナル我國體ノ本義ニ徹シ、戦争完遂ニ關スル、統一セル思想ノ下ニ、一
致協力、己ヲ空ウシテ、行政ノ運営ニ當ルコトハ、最モ肝要デアリ、又、之ハ、各般ノ官吏服務ノ基礎
ヲ爲スモノデアリマス。申ス迄モ無ク、官吏ハ、天皇陛下ノ官吏デアリマス。

陛下ノ御爲ニ、一身ヲ捧グテ、御奉公申上ゲルト云フコトヲ、深く自覺シ、而シテ、陛下ノ赤子タル國
民ヲシテ、常ニ、其ノ御光ニ浴セシムルコトヲ以テ、己ガ本領トスルコト、之ガ官吏ノ心構ヘノ根本デ

アリマス。官吏タルモノハ、此ノ心構ヘノ下ニ、至誠一貫、匪躬ノ誠ヲ致サネバナラナイト、國々信ズ
ルモノデアリマス。

本勅令ニハ、次ニ、

「一 官吏ハ戦時特ニ其ノ責任ノ重大ナルヲ自覺シ不屈不撓努力ト工夫トヲ盡シテ其ノ責務ヲ貫徹スベ
シ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、苟クモ職ヲ官ニ奉ズルモノハ、戦時、特ニ、其ノ責任ノ重大ナルコトヲ自覺シ、日々旺
盛ナル責任觀念ヲ堅持シテ、其ノ職務ヲ遂行スルニ、些モ缺クルナキヤ、自ラ省ミルト共ニ、自己ノ職
責ハ、如何ナル障害ヲモ排除シ、最善ノ努力ト工夫トヲ效シテ、之ヲ、必ズ遂行センコトヲ、期スベキ
ハ、素ヨリデアリマス。

元來仕事ノ成否ハ、人ノ賢愚ニ因ツテ、左右サレルト謂フヨリモ、當事者ノ、責任觀念ノ強弱ニ因ツ
テ、決セラルルモノデアリマス。戦場ニ於ケル勇敢ナル行爲モ、怯懦ナル行爲モ、其ノ分ルル所ハ、本
來、其ノ人ノ強イ弱イト謂フニ因ルノデハナクシテ、其ノ人ノ責任觀念ノ強弱ニ因ツテ、決マルモノデ
アリマス。複雑多岐ニ亘ル戦争下ノ仕事ヲ、最モ適切ニ、最モ迅速ニ、處理シテ行クベキ立場ニ在ル官
吏ハ、愈々、旺盛ナル責任觀念ヲ以テ事ニ臨ムコトガ極メテ必要デアリマス。之アツテこそ、異常ナル

努力を生レ、適切果斷ノ處理モ、爲シ得ラレルノデアリマス。責任ヲ恐レテ、消極ニ墮シ、事勿レ主義ヲ以テ、責任ヲ糊塗スルガ如キハ、斷ジテ、許容シ難キ所デアリマス。今ヤ、事態ハ、然ク、生易シイモノデハナイノデアリマス。敢然トシテ進シテ責任ヲ執リ、斃レテ後已ムノ烈々タル氣魄アルノミデアリマス。飽ク迄モ強イ責任觀念ヲ持シテ、躬ヲ以テ事ニ當リ、全力ヲ傾倒スルノ覺悟コソ、皇國官吏ノ本懐デアルト信ズルノデアリマス。

本勅令ニハ、次ニ、

「一 官吏ハ戰時特ニ眞摯不斷ノ省察ヲ遂ゲ常ニ思フ大局ニ致シ和衷協力施策ヲシテ悉ク征戰ノ完遂ニ寄與セシメンコトヲ期スベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、今ヤ、アラユル國務ハ、大東亞戰爭完勝ノ一點ニ集中セラレナケルバナライノデアリマス。之ニ付テハ、特ニ絶エズ眞劍ナル自己省察ヲ必要トスルノデアリマス。平時的ナ頭テ進シテ居ツタノデハ、到底此ノ大戰爭ノ要求ニ即應スル機敏適切ナル行政ヲテキバキト運営スルコトハ出來ナイノデアリマス。文字通り頭ヲ戰時的ニ切り換ヘル、是レ、決戦執務ノ要諦デアリマス。素ヨリ官吏ハ、其ノ地位ノ上下ニ依リ、其ノ擔當スル職務ノ領域ニ大ナルモノアリ、小ナルモノモアルノデアリマス。然シ乍ラ、苟クモ、自分ノ職域ニ關シテハ如何ニスレバ、決戦下ニ最モ相應シク、且最モ有效ニ執務ヲ爲

シ得ルカヲ省察シ、又果シテ現下焦眉ノ急務タル戦力増強ニ即シテ居ルカドウカヲ常ニ反省シ、時局ニ適セザルモノハ、思ヒ切ツテ之ヲ改メルコトガ、肝要デアリマス。此ノ點ニ付テ特ニ私ノ強調致シタイコトハ時ガ戰勝ノ絶對的要素デアルコトデアリマス。

アラユル方面ニ付テ、絶對ニ繁文褥禮ヲ避ケテ、眞ニ戰時ニ適セル簡素強力而モ敏速ナル行政ノ執行ヲ圖ランコトヲ期スベキデアリマス。戰爭デハ一瞬ノ差ガ、勝敗ノ分岐點ニナルノデアリマス。時ノ要素ヲ忘レタ施策ハ、何等ノ價値モナイノデアリマス。若シ夫レ、我々官吏ノ心構ヘノ至ラザル結果、徒ラニ、時間ヲ遷延シ、時機ヲ失スルガ如キコトアランカ、之ハ、洵ニ由々シ[★]大事デアリマス。

本勅令ニハ、次ニ、

「三 官吏ハ戰時特ニ部下ニ對シテ其ノ向フベキ方途ヲ明示シ躬ヲ以テ之ガ統率指導ニ任ズベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、苟クモ、上官タルモノノ職責ハ、常ニ部下ニ對シ、明確ニ方向ヲ示シ、適時適切ナル命令ヲ下シ、且、之ニ對シテ、全幅的ニ、責任ヲ執ルニアルノデアリマス。之ガ爲ニハ、上司タルモノハ、常ニ正確ニシテ詳細ナル判斷資料ヲ、頭ニ整ヘテ置カネバナラヌノデアリマス。即チ上司タル者ハ、率先先頭ニ立チ、常ニ格段ノ勉強努力工夫ニ努メ、確固タル自信ト責任トヲ以テ部下ニ方向ヲ明示シ、且

部下ヲ完全ニ掌握シテ、其ノ指導ニ當ルベキコトハ、此ノ戦時下、特ニ、肝要ノコトデアリマス。軍隊ニ於ケル指揮官ノ陣頭指揮ノ如何ハ、直ニ、其ノ戦力ヲ左右シテ居ルノデアリマス。而シテ官界ニ於テモ、上司タル者ノ陣頭指揮ノ如何ガ、如何ニ大キク、行政ノ成果ニ、現ハレテ居ルカハ、最近ノ行政査察ノ賞績等ニ徴シ、極メテ明白デアリマス。須ラク、人ヲ指揮スル地位ニアルモノハ、眞ニ陣頭指揮ニ徹底シ、特ニ生産ノ増強ニ關係アルモノハ、深ク思ヒテ致スベキデアリマス。

本勅令ニハ、次ニ、

「四 官吏ハ戦時特ニ上司ノ命ヲ遵守シ時機ヲ失セズ施策ノ遂行ニ邁進スベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、方針ヲ決メルマデノ經過ニ於テハ、甲論乙駁、色々ノ考へ方、見方ガアツテ、議論モアルコトハ、當然デアリマス。又意見ガアレバ、ドシドシ具申スベキデアリマスルガ、一旦、上司ニ於テ、責任ヲ以テ、方向ヲ決メタ以上ハ、時機ヲ失ズ、其ノ方向ニ向ツテ、萬人ガ、突進シテ行カナケレバナライノデアリマス。此ノ氣構ヘコソ、戦時下ノ官吏ニ、特ニ必要ナノデアリマス。殊ニ寸刻ヲ争フ戦時ニ於テ、徒ラニ論議ニ時間ヲ空費シテ、時機ヲ失シ、或ハ、其ノ方向ヲ決定セラレタ後マデモ、大局ニ徹セズ、自我ヲ固執シ、之ニ對スル批評ヲ行ヒ、不平不満ノ意ヲ漏ラシ、又ハ、泣事ヲ云ツタリスルコト

トハ、施策ノ實行ヲ阻害シ、特ニ刻下ノ急務タル軍需生産其ノ他各方面ニ支障ヲ來シ、損失ヲ及ボスハ素ヨリ、延イテハ、國民ノ心持ニモ、至大ノ影響ヲ及ボスモノナルコトヲ、忘レテハナラナイノデアリマス。

本勅令ニハ、次ニ、

「五 官吏ハ戦時特ニ民情ノ機微ヲ察シ懇切丁寧以テ事ニ當ルベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、今ヤ、曠古ノ大戦争ノ眞只中ニ於テ、國民ノ悉クガ、其ノ有スル凡テヲ捧ゲテ、戦ツテ居ルノデアリマス。官吏タルモノハ、克ク、思フ茲ニ致シ、國民生活ノ實情、民心ノ機微ヲ、十分察シテ、眞ノ意味ノ親切丁寧ヲ以テ、國民ニ接スルコトハ、決戦下國民生活ガ益々複雑ニナリ、困難トナルニ伴ヒ、愈々其ノ必要ヲ、痛感セラルルノデアリマス。一、二、官吏ノ不親切ノ結果、國民ガ不愉快ヲ苛立ツタ氣分ニナル事例モ少クナイノデアリマス。斯クノ如キコトヲ放置スルハ、戦時下、許スベカラザルコトデアリマス。官吏ノ一人一人ガ懇切丁寧ヲ旨トシテ、國民ニ對スルカ否カハ、國內結束ノ上ニ、延イテハ、戦力増強ノ上ニ、實ニ、大キナ影響ヲ、持ツモノデアリマシテ、假令、僅カノ官吏デアリマシテモ、此ノ點ニ缺クル所ガアリマスルナラバ、雖テハ官吏ト國民トノ精神的繋リニ、思ハザルヲ、入レルコトトナルコトヲ、銘記セネバナラナイノデアリマス。



本勅令ニハ、次ニ、

「六、官吏ハ戰時特ニ廉潔ノ風ヲ重ンジ修身齊家率先垂範以テ世ノ儀表タルニカムベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、凡ソ官吏タルモノハ、平時タルト、戰時タルトヲ問ハズ、清廉ヲ守ルベキハ云フマデモナイ所デアリマス。先ニモ申シマシタル如ク、戰爭下、特ニ、國民生活ガ複雑トナリ、窮屈トナルニ伴ヒ、又國民ノ經濟活動、其ノ他、國民生活ニ官廳ノ關與スル部面ガ、廣汎トナルニ伴レ、官吏ハ、特ニ身ヲ持スルニ嚴ナルヲ要シ、愈々、自肅自戒ニ努ムルヲ要スルノデアリマス。而シテ我々官吏ハ、單ニ自己一身ヲ修ムルニ止ラズ、進ンデ、家ヲ齊ヘ、一家ヲ率キテ、戰時道義ノ作興、經濟秩序ノ維持、戰時國民生活ノ實踐等ニ付キ、率先垂範、以テ、世ノ模範タルニカムベキコトガ、此ノ際、特ニ肝要ナルコトト、存ズルノデアリマス。

本勅令ニハ、次ニ、

「七、官吏ハ戰時特ニ其ノ言動ヲ戒慎スルト共ニ機密ノ保持ニ細心ノ注意ヲ拂フベシ」ト定メラレテアルノデアリマス。

按ジマスルニ、公人ノ言動ガ慎重ナルコトヲ要スルコトハ、素ヨリデアリマス。特ニ、今日ノ如キ時局

ニ當リマシテハ、内ハ、人心ノ安定ヲ圖リ、外ハ、外國ノ諜報ニ對處スル爲ニハ、官吏ノ言動ハ、慎重ノ上ニモ、慎重ナランコトヲ要スルノデアリマス。即チ、官吏ハ、戰時下、特ニ機密ノ保持ニ付、細心ノ注意ヲ拂ヒマスト共ニ、平素ノ言動ヲ慎ミ、苟モ不用意ノ言動ヲ爲シテ、國民ヲシテ、歸趨ニ迷ハシムルガ如キコト無キヤウ、全幅ノ努力ヲ致スベキデアリマス。

尙今回、戰時官吏服務令ノ御制定ト共ニ、現在ノ文官懲戒令ノ外、新ニ、文官懲戒戰時特例ノ御制定ヲ見タノデアリマス。而シテ本勅令ニ於キマシテハ、本屬長官タル者ハ、戰時下、特ニ意ヲ網紀ノ振肅ニ用ヒ、苟モ服務ノ紀律、就中、戰時官吏服務令ニ違フ者アラバ、嚴ニ、懲戒ノ措置ヲ執ルベキモノナル旨ガ、明示セラレテ居ルノデアリマス。又、更ニ現行懲戒令ニ依ル、免官、減俸及譴責ノ外、謹慎ト謂フ新タナル罰目ガ加ヘラレ事情ニ應ジテ、適切ナル懲戒ノ措置ヲ執リ得ルコトトセラレテ居ルノデアリマス。

尙、之ト共ニ、官吏優遇ノ恩召ヲ以テ、今回「各職職員危篤又ハ退官ノ際ニ於ケル任用等ノ特例」ガ制定セラレタノデアリマス。即チ、各職職員ニシテ、功績顯著ナル者ノ危篤又ハ退官等ノ場合、殊ニ、公務ニ因ル傷病疾病ノ爲、危篤ニ陥リ、又ハ、之ガ爲、退官等ノ已ムテキニ至リマシタル場合等ニ於キマシテハ、特別ノ優遇ヲ爲シ得ルコトトシ、以テ、本人在職中ノ功績ニ酬キルコトト相成ツタノデアリマ

ス。

尙、政府トシテハ、在職中ノモノト雖モ、功績顯著ナル者ニ對シ、昇給、賞賜其ノ他ニ付、特別ノ措置ヲ執ルコトト致シ度イト存ジテ居リマス。

之ヲ要スルニ、全國ノ官吏ガ國民ノ先頭ニ立ツテ旺盛ナル責任觀念ノ下、己ヲ抛ツテ事ニ當リ、和衷協力、一刻ヲ争ヒ、施策ヲシテ、悉ク戦争完遂ニ寄與セシメンコトヲ期シテコソ、初メテ、戦争遂行ニ、適應セル強力ナル施政ハ、行ハレルノデアリマス。之ニ反シ、假ニモ、時局ニ對スル省察ヲ忘レ、或ハ機宜ヲ失シ、品位ヲ傷ケ、言動ヲ紊リ、國民ニ對スル態度ニ、懇切丁寧ヲ缺クガ如キコトアランカ、只ニ、官吏ノ信用ヲ失墜スルノミナラズ、其ノ影響ノ及ブ所、蓋シ甚大ナルモノアリ、絕對ニ、戒慎シナケレバナライ所デアリマス。

然シナガラ、重ネテ申述ベマスガ、戦時下ニ於ケル官吏ノ心構ヘハ、飽ク迄モ、積極的デ無ケレバナライノデアリマス。慎重ヲ期スルコト、固ヨリ、大切デアリマスルガ、戦時下ニ於テハ、積極的ニ仕事ヲシテ、戦争ニ勝ツ爲ニ、幾分デモ多ク寄與スルコトガ、何ヨリ、必要ナノデアリマス。徒ニ、積極的ニ身ヲ持シ、己ヲ全ウシテ、非難ヲ免レントスルガ如キコトナク、率先己ヲ正スト共ニ、如何ナル艱難ニ直面シテモ必ズ身ヲ挺シテ、責務ヲ果スベキ積極進取ノ氣魄ガ、何ヨリモ、必要ナノデアリマス。

命ヤ帝國ノ隆替、東亞ノ興廢ヲ決スベキ重大時局ニ際シ、茲ニ、戦時官吏服務令ノ御制定公布ヲ見マシタコトハ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘヌ所デアリマス。諸君、勝敗ノ鍵ハ、結局一億國民ノ努力如何ニ懸リ、而シテ、眞ニ國民ヲシテ、其ノ總力ヲ發揮セシムルヤ否ヤハ、懸ツテ我々官吏ノ態度、努力ノ如何ニ基クモノデアリマス。私ハ、諸君ト共ニ、朝夕、戦時官吏服務令ニ示サレタル處ヲ實踐躬行シ愈々學生ノ力ヲ盡シテ、職責ノ遂行ニ邁進センコトヲ誓フ次第デアリマス。

(終)